

第 147 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(令和 2 年度 第 3 回)

- ・日 時 令和 2 年 6 月 2 4 日 (水) 15:00～16:00
- ・場 所 浜田キャンパス本部棟会議室 出雲キャンパス大会議室
松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、山下学長代行、井上厚史副学長、石橋副学長、岸本副学長、林総合政策学部長、梶谷看護栄養学部長、岩田人間文化学部長、福原北東アジア開発研究科長、犬塚教務部長、吾郷教務部長、松浦教務部長、濱田学生生活部長、名和田学生生活部長、小柳学生生活部長、狩野別科長、李北東アジア地域研究センター長、藤原しまね地域研究センター長、小池事務局長
- ・欠席者 なし

○第 146 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 146 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

《審議事項》

(1) 成績優秀者奨学金の対象人数及び給付額 (案) について (浜田キャンパス)
清原学長及び事務局から、成績優秀者奨学金の対象人数及び給付額 (案) について、資料 (略) により説明があり、承認された。

濱田学生生活部長より、前年度までは総額 1,000 万円程度の予算だったが、今回の案では 355 万程度となっており、差額分はどの分野に利用されるのか確認があり、清原学長から、今年度はコロナ対策の学生支援に充てているが、来年度以降については今後検討していきたい旨の回答があった。

(2) 教員個人評価の評価結果に基づく評価対象者の変更等について (浜田キャンパス)

清原学長及び事務局から、教員個人評価の評価結果に基づく評価対象者の変更等について、資料 (略) により説明があり、承認された。

福原北東アジア開発研究科長より、引き続き更なる簡素化を実施してもらいたいとの発言があり、清原学長から、今後も改善や見直しを実施していくとの発言があった。

(3) 県立大学・県立大学短期大学部 理事長選考会議委員の選出について (浜田キャンパス)

清原学長及び事務局から、県立大学・県立大学短期大学部 理事長選考会議委員の選出について、資料 (略) により説明があり、小池事務局長が委員に選出された。

(4) 大学院生に係る奨学金・減免制度の見直しについて (浜田キャンパス)

清原学長及び事務局から、大学院生に係る奨学金・減免制度の見直しについて、資料 (略) により説明があり、資料の 3. 優秀学位論文奨学金については保留とし、

審議事項（１）と合わせて採決した結果、賛成 14、反対 4 となり承認された。主な議論は以下のとおり。

福原北東アジア開発研究科長より、優秀な学位論文をどのように評価するのか難しく、まだ研究科委員会で議論ができていないので保留にしてほしいことと、学生を TA・SA として配置する場合の基準変更の検討状況について確認があり、清原学長から、看護学研究科の状況もあるので、双方で調整してもらい、再度提案する形にしたいことと、TA・SA の設置基準を緩和することを検討している旨の回答があった。

濱田学生生活部長より、現行で日本人大学院生向けの奨学金等の制度があるのか確認があり、清原学長から、現在日本人大学院生向けの制度は無く、浜田は外国人大学院生が多いが、出雲は日本人大学院生のみであるので、そのような面を考慮して創設する旨の回答があった。

藤原しまね地域研究センター長より、社会人大学院生も本制度の対象になるか確認があり、清原学長から、社会人大学院生も対象であるが、在職社会人大学院生は状況が他の院生と異なるため、制度を別途設けることを今後検討していきたいと回答があった。

（５）2021 年度交流県留学生（寧夏回族自治区）合否判定について（浜田キャンパス）

岩本アドミッションセンター長から、2021 年度交流県留学生（寧夏回族自治区）合否判定について、資料（略）により説明があり、2 名の合格が承認された。

（６）その他
なし

《報告事項》

（１）平成 31（令和元）事業年度業務実績報告について（浜田キャンパス）

事務局から、平成 31（令和元）事業年度業務実績報告について、資料（略）により報告があった。

（２）北東アジア地域研究センター准研究員の決定について（浜田キャンパス）

李北東アジア地域研究センター長から、北東アジア地域研究センター准研究員の決定について、資料（略）により報告があった。

（３）北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて（浜田キャンパス）

李北東アジア地域研究センター長から、北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて、資料（略）により報告があった。

（４）その他

清原学長から、教職協働の確立について、資料（略）により報告があった。

岸本副学長より、今後どのように教職員に周知していくのか確認があり、清原学長から、各キャンパス教授会には学部長をとおして、各委員会には委員長を通じてといった、様々な方法で周知していく旨の回答があった。

福原北東アジア開発研究科長より、一方的な意思決定はしないこと及び意思決定に関する議論は開かれた場所で実施する、といった文言を追記してほしいと発言があり、清原学長から、これまでも多くの会議は公開で実施しているが、引き続き見える化について考慮していきたいと発言があった。

小池事務局長から口頭により、新型コロナウイルスに関連した寄付金の状況報告があった。関連して清原学長から、寄付金以外にも食料等を寄付していただいたり、手紙をいただいたり、地域の皆様に大変感謝していること、また、浜田市からは商品券を提供していただいたり、島根県からはコロナ対策に予算措置してもらうこととなり、こちらについても大変感謝しているとの発言があった。

濱田学生生活部長より、クラブ・サークル活動自粛解除の是非について各キャンパスの意見を聞きたいと発言があり、岸本副学長から、時期をみて判断するが、出来る限り学生に配慮したいと発言があり、石橋副学長から、実習が始まるタイミングであり、出雲キャンパスで陽性者が1名でも発生するとすべての実習が中止になってしまうので、現時点では慎重にしていきたいと発言があり、清原学長から、基本的に各キャンパスの事情に応じて判断してほしいが、7月上旬を目途に全学方針を出したいとの発言があった。

次回開催予定：令和2年7月22日（水）